

子どもの居場所を公設民営で運営している「ゆめパーク」の3年を追ったドキュメンタリー

「ゆめパのじかん」上映会

12/12(土)

13:00開場

13:30～15:00上映

15:15～15:45おしゃべりタイム

お時間のある方はご参加ください

ひらつか市民活動センター 平塚市見附町1-8

入場無料 どなたでも 先着50人



何をしてもいい。何もしなくてもいい。
きみは、きみのままでいい。

いまを生きるすべての子どもと、かつて子どもだった大人に贈る、
生きる力を育む“じかん”

「ゆめパ」は子どもたちみんなの遊び場。約1万㎡の広大な敷地には、子どもたちの「やってみたい」がたくさん詰まっています。手作りの遊具で思いっきり遊ぶ子どもたち。一緒にどろんこになっている親子。小さな子どもを連れた自主保育のグループ。ゆめパにはいつも子どもと子どもに関わる大人が集っています。

ゆめパの一角には「フリースペースえん」があり、学校に行っていない子どもたちが自分の「好き」をあためています。安心して、ありのままの自分で過ごせる場所で、虫や鳥を観察したり、木工細工に熱中したり、ゴロゴロ休息したり。でも、時には学校や勉強のことが気になる子も…。新しい春を前に、一人の子が自身の将来を考え始め――。

家庭でもない、学校でもない、第3の子どもの居場所を公設民営で運営している先進的なモデルとして、全国の自治体から注目を集めるゆめパの日々を3年にわたり撮影したのは、『さとにきたらええやん』の重江良樹監督。遊ぶこと、学ぶこと、休息すること、人と共にあること。その輝きも揺らぎも、子どもたちのかけがえのない“じかん”はきっと大人たちにも大切なものを思い起こさせてくれることでしょう。

子どもも大人もみんなが作り手となって生み出される「居場所の力」と、時に悩みながらも、自ら考え歩もうとする「子どもの力」を描き出したドキュメンタリー。

主催：フリースペースいろえんぴつ 子どものための居場所

共催：親の会パレット 不登校の子どもを持つ親の会

後援：平塚市教育委員会

お問い合わせはフリースペースいろえんぴつへ

電話080-5923-1127(平日午前10時～午後3時)またはfs.iroenpitsu@gmail.com

この事業は公益財団法人かながわ生き生き市民基金からの助成金で実施します。

